

「生産空間」の維持・発展と多様な人材の確保・対流を支える地域づくりプロジェクト 〔道央広域連携地域〕

国家的・広域的な課題

- 北海道は人口減少・高齢化が全国を上回るスピードで進展しており、経済活力の著しい低下や、地域そのものの衰退が懸念されています。雇用創出や少子化対策などによる定住人口の確保や地域づくり人材の発掘・育成を推進することが重要であるとともに人口構造の変化に対応した持続的・安定的経済の確立が課題となっています。
- 広大な北海道は、国内他地域とはスケールの異なる広域分散型社会を形成しており、人口の3分の1以上が札幌市に集中する一方、第1次産業の生産の場であり観光の場である「生産空間」は地方部に広域に分散して存在しています。人口減少・高齢化が急速に進展する中、札幌都市圏、地方部、それぞれが都市機能・生活機能の重層的な機能分担を図りつつ、定住・交流環境を確保し、「生産空間」を維持・発展させていくことが重要です。
そのためには、コンパクトなまちづくりの推進と地域交通の再編・整備との連携や定住促進、労働力確保に向けた情報通信基盤の整備等が必要となっています。
- 新型コロナウイルス感染症拡大により、東京一極集中のリスクが認識され、また、テレワーク等リモートサービスの活用・定着が進み始め地方移住への関心が高まっており、テレワーク、サテライトオフィス、ワーケーション等の環境整備が必要です。
- 人口減少に伴う医療・商業・教育等の都市機能の喪失が地方部にとって大きな問題となっていることから、地方部の市街地、圏域中心都市を結ぶ交通・情報ネットワークの整備を推進する必要があります。
- JR北海道が厳しい経営状況の下で鉄道事業の見直しを表明し、今後、人々の生活や経済を支える地域の公共交通の確保・持続可能性が課題となっています。地域の実情に応じ、鉄道やバスを始めとする地域の公共交通を持続可能なものとしていくための在り方の検討や取組を進めていく必要があります。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 文化・歴史を受け継ぎながら、本道をリードする中核エリアとして、次の世代を見据えた持続可能な発展をめざす「道央広域連携地域」

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- **誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりの推進**
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に向け、地域住民と事業者が連携した「北海道スタイル」の促進
 - ・今後の感染症治療の対応も考慮した地域における医療連携や救急医療体制の充実などによる医療提供体制のより一層の充実
 - ・新規学卒者等の地元就職・定住の促進
 - ・若者の地元定着や出産・子育てをしながら働き続けられる環境づくり等に向けたテレワークをはじめとした多様で柔軟な働き方の推進
 - ・買い物支援、交通ネットワークの充実に向けた検討など、若者や子育て世代だけでなく、高齢者も健康で暮らしやすい環境づくりの促進
 - ・国際感覚やコミュニケーション能力を備えたグローバル人材やシビックプライドの醸成などを通じた地域に根ざした食育の推進による次世代リーダー等、地域を支える多様な人材の育成や確保
 - ・首都圏で生活する幅広い世代に向けて地域の魅力の発信や移住に関する関係団体とのネットワークの構築、移住相談、移住体験（ちょっと暮らし等）やワーケーションなどによる関係人口の創出・拡大、移住・定住の促進
- **交通基盤整備の促進**
 - ・地域生活や産業及び快適な広域観光を支える交通ネットワークの維持・確保及び充実

プロジェクトの概要

人口減少・高齢化が急速に進展する中、地方部における定住環境を確保し、「生産空間」から都市部に至るまで人々が長期にわたって住み続けられる北海道型地域構造の保持形成のため、地方部の市街地、圏域中心都市を結ぶ交通・情報ネットワークを構築し、生活機能の維持・確保を図ります。
また、地域の価値創造力の向上のため、多様な人々の交流やコミュニケーションを促進し、地域づくり人材の発掘・育成を進めます。

主な取組

- **活力ある地域を支援する交通ネットワークの構築**
 - ・生産空間、市街地、基礎圏域中心都市を結ぶ高規格道路等の広域交通ネットワークの整備
 - ・住民の日常生活に必要な医療、買物、教育等の生活サービスにアクセスするための幹線道路の整備推進
 - ・国道通行不能区間（ミッシングリンク）の解消
 - ・交差点の右折だまりといった交通安全施設の整備等による交通事故対策の推進
- **冬期交通の移動性及び信頼性向上**
 - ・雪国の生活を支える幹線道路交通の安全の確保
 - ・冬期間における高齢者の安全な暮らしを支える道路管理の推進
- **地域資源を活用した生産空間の活性化**
 - ・道の駅等を活用した生産空間の利便性向上、地域コミュニティ創出や他地域との交流促進等を支援
- **散居形態を成す生産空間における生活機能を維持**
 - ・利用者負担や運営コスト、担い手確保等の点で持続可能な人流・物流システムの構築
 - ・通院、買物、通学等の交通需要に対応する地域公共交通の導入・維持・再編
- **北海道の価値創造力の強化に向けた多様な人材の確保・対流の促進**
 - ・地域の魅力・課題に精通した地元住民等と協働して、道路の機能・役割を最大限発揮させることを目指す「協働型道路マネジメント」の推進
- **多様な地域づくり人材の発掘・育成の支援**
 - ・地域づくりに取り組む多様な人材の発掘と地域間交流の促進を目的としたフォーラムや勉強会の開催等により、地域づくりの担い手育成や確保の支援を行う「地域パートナーシップ活動」の推進

令和3年度の具体的な施策内容

札幌開発建設部

【道路】

- ・道央圏連絡道路（中樹林道路、長沼南幌道路）
- ・一般国道5号 創成川通
- ・一般国道12号 峰延道路
- ・一般国道230号 定山溪拡幅
- ・一般国道275号 江別北道路
- ・一般国道452号 盤の沢道路
- ・交通安全対策事業の実施
- ・協働型道路マネジメントの実施

小樽開発建設部

【道路】

- ・高規格道路の整備
（倶知安余市道路（倶知安～共和）、倶知安余市道路（共和～余市））
 - ・一般国道5号 塩谷防災
 - ・一般国道229号 島牧防災
 - ・一般国道5号 朝里交差点改良
 - ・一般国道229号 余市地区交差点改良
 - ・一般国道230号 喜茂別事故対策
 - ・一般国道393号 真栄交差点改良
 - ・一般国道337号 銭函運河交差点改良
 - ・一般国道5号 春香歩道整備
 - ・一般国道230号 三ノ原中央帯整備
 - ・安全で円滑な冬期道路交通確保を図るため、気象状況や交通状況等を踏まえて、適切なタイミングで除排雪等を実施
 - ・優れた景観を確保するための協働型道路マネジメントの実施
- #### 【地域振興】
- ・地域パートナーシップ活動

室蘭開発建設部

【道路】

- ・日高自動車道 厚賀静内道路
- ・一般国道453号 蟠溪道路
- ・一般国道36号 双葉町交差点改良
- ・一般国道36号 大和交差点改良
- ・一般国道37号 東有珠路肩改良
- ・一般国道234号 安平歩道整備
- ・一般国道235号 富川交差点改良
- ・一般国道235号 静内入船交差点改良
- ・一般国道235号 荻伏交差点改良
- ・一般国道235号 東栄事故対策
- ・一般国道237号 振内歩道整備
- ・一般国道274号 清瀬防災事業
- ・一般国道276号 泉町交差点改良
- ・一般国道336号 西幌別歩道整備
- ・安全で円滑な冬期道路交通確保を図るため、気象状況や交通状況等を踏まえて、適切なタイミングで除排雪等を実施
- ・優れた景観を確保するための協働型道路マネジメントの実施

【地域振興】

- ・縄文文化を通じた国際的な価値創造に向けた取組
- ・白鳥大橋を活用したインフラツーリズム

令和7年度（5年後）の目標

札幌開発建設部

【道路】

- ・道央圏連絡道路 中樹林道路
R6年度 全線開通予定
- ・一般国道12号 峰延道路
- ・一般国道230号 定山溪拡幅
R4年度 全線開通予定
- ・一般国道275号 江別北道路
R5年度 全線開通予定
- ・一般国道452号 盤の沢道路
- ・交通安全対策事業の実施
- ・協働型道路マネジメントの実施

小樽開発建設部

【道路】

- ・倶知安余市道路（倶知安～共和）
- ・倶知安余市道路（共和～余市）
R6年度（仮称）仁木IC～余市IC開通予定
- ・一般国道229号 島牧防災
- ・交通安全対策事業の実施
- ・協働型道路マネジメントの実施

【地域振興】

- ・地域パートナーシップ活動

室蘭開発建設部

【道路】

- ・日高自動車道 厚賀静内道路
（日高厚賀IC～新冠IC【仮称】（R7年度開通予定））
 - ・一般国道276号 苫小牧新中野電線共同溝
 - ・一般国道274号 清瀬防災
 - ・一般国道453号 蟠溪道路
R3年度 部分開通予定、R7年度 全線開通予定
 - ・交通安全対策事業の実施
 - ・協働型道路マネジメントの実施
 - ・自治体が管理する道路施設の直轄修繕代行（白老橋）の実施
- #### 【地域振興】
- ・縄文文化を通じた国際的な価値創造に向けた取組
 - ・白鳥大橋を活用したインフラツーリズム

強靱な国土づくりへの貢献と安全・安心な社会基盤づくりプロジェクト〔道央広域連携地域〕

国家的・広域的な課題

- 近年、北海道では異例の降雨や降雪が発生しており、今後も気候変動による水害・土砂災害の頻発・激甚化や、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等による津波、火山噴火等による被害が懸念されていることから、自然災害に対してハード対策とソフト対策を効果的に組み合わせることで効率的な防災・減災対策を進め、安全・安心な国土を構築する必要があります。
- 災害による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、代替性確保のための高規格道路や緊急輸送道路などの安全で確実な交通ネットワークの整備を推進するとともに、河川管理者等の対策に加えあらゆる関係者が流域全体で取り組む「流域治水」の推進、関係機関の連携による防災訓練の実施やタイムライン等に基づく迅速な行動の確保、リエゾン、TEC-FORGEの派遣、災害対策用機械の貸与等による地域への支援、防災情報体制の整備、ハザードマップの充実などの対策が必要となっています。
- 北海道内の社会資本は、高度経済成長期以降に集中的に整備されたため、老朽化が急速に進展することが確実となっており、予防保全への本格転換、新技術の活用による点検の高度化・効率化等による戦略的な施設の老朽化対策を進めることが求められています。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 文化・歴史を受け継ぎながら、本道をリードする中核エリアとして、次の世代を見据えた持続可能な発展をめざす「道央広域連携地域」

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- **誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりの推進**
 - ・ 防災・減災、国土強靱化に資するインフラの整備や、地域防災マスターや自主防災組織の育成、感染症対策を踏まえた避難所運営などによる地域防災力の強化
- **交通基盤整備の促進**
 - ・ 地域生活や産業及び快適な広域観光を支える交通ネットワークの維持・確保及び充実

プロジェクトの概要

気候変動等に伴う異例の水害・土砂災害の局地的・集中化・激甚化や、地震、津波、火山噴火等による被害に対応するため、ハード・ソフト対策を効果的に組み合わせることで効率的な防災・減災対策を推進します。

また、国家的規模の災害時における後方支援等のバックアップ機能の確保を推進するとともに、交通基盤等の整備と併せて、今後急速に進むインフラの老朽化対策への戦略的な取組を推進します。

主な取組

- **道央圏の産業と安全で活力ある地域づくりを支える治水事業の推進**
 - ・ 石狩川本支川の丘陵堤等堤防整備、河道掘削の推進
 - ・ 北村遊水地の整備推進
 - ・ 近年発生した災害を踏まえた緊急的治水対策の推進（幌向地区、鶴川、沙流川）
 - ・ 尻別川における治水対策の推進
 - ・ 流域治水協議会において、流域のあらゆる関係者が協働してハード・ソフト一体の水防災対策「流域治水」の推進（流域治水プロジェクトの推進）
 - ・ 千歳川流域治水対策協議会において内水対策等の対応方針について確認
 - ・ 気候変動を踏まえた河川整備計画の見直しに向けた検討実施
 - ・ 雨竜川ダム再生事業の実施計画調査の実施、雨竜川河川整備計画の見直しに向けた検討実施
 - ・ 減災対策協議会において水防災意識社会再構築の取組推進
 - ・ 関係自治体水害タイムライン作成支援
 - ・ 洪水ハザードマップ作成の支援

令和3年度の具体的な施策内容

札幌開発建設部

【治水】

- ・ 石狩川本支川の堤防整備及び河道掘削の実施
- ・ 北村遊水地の用地補償、囲ぎよう堤、周囲堤盛土、補償工事等の実施
- ・ 幌向川地区の堤防整備等や橋梁架け替えに向けた調査検討、工事実施
- ・ 千歳川の堤防整備、堤防整備に伴う補償工事・附帯工事の実施
- ・ 豊平川及びその支川の河道掘削、河道整正等の実施、
- ・ 豊平川の砂防堰堤整備等の実施
- ・ 幾春別川総合開発事業の新桂沢ダム本体工事、付替道路工事等の実施

○ 頻発する自然災害に対応する千歳川流域の治水対策の推進

- ・千歳川流域の治水対策の推進
- ・遊水地群の整備促進
- ・千歳川流域治水対策協議会など関係機関と一体となった内水対策・流域対策の推進

○ 道都札幌の都市機能を守る防災対策の推進（豊平川）

- ・壊滅的な被害を防止するための治水対策の推進
- ・集中豪雨等による土砂災害対策の推進
- ・札幌市と協働・連携した防災・減災対策の推進

○ 洪水調節とともに、安全で良質な水を安定確保する施設整備の推進

- ・幾春別川総合開発事業の推進
- ・沙流川総合開発事業の推進
- ・関係機関等と連携・協働した既存ダムの活用

○ 海岸浸食に伴う波浪災害対策

- ・海岸浸食や越波被害を軽減するための胆振海岸保全事業の推進

○ 災害等に対応した道路環境の整備

- ・代替性確保のための高規格道路等の整備
- ・国道通行不能区間（ミッシングリンク）の解消
- ・安全・安心な道路交通の確保のための効率的な防災・減災対策の推進
- ・橋梁、トンネル等の道路施設の老朽化対策の推進
- ・避難道路・避難場所の確保
- ・冬季の安全な道路通行を確保するために、豪雪・雪崩対策や地吹雪等による視程障害を防止する対策を推進

○ 港湾施設の戦略的な維持管理・更新

- ・港湾施設の老朽化対策

○ 北国の歴史的建造物の改良

- ・土木学会選奨土木遺産・北海道遺産である歴史的防波堤等の機能を確保しつつ、次世代への継承を図る（小樽港）

○ 大規模地震及び津波等に対する防災対策

- ・緊急輸送道路の耐震性能を向上させるために、橋梁の架替や耐震補強を推進
- ・緊急輸送道路における無電柱化の推進
- ・地震発生時の緊急輸送拠点機能の確保と航空ネットワークの維持、北海道内における経済活動の継続性確保に必要となる空港施設の耐震対策の強化
- ・耐震強化岸壁を配置した臨海部等防災拠点の整備の推進
- ・地震・津波等の自然災害に対する防災拠点、物流機能維持としての施設の整備
- ・波浪・高潮等の自然災害に対する物流機能維持のための施設の整備

【道路】

- ・道央圏連絡道路（中樹林道路、長沼南幌道路）
- ・一般国道452号 盤の沢道路
- ・電線共同溝事業の実施
- ・防災・減災対策の実施
- ・メンテナンスサイクルに基づく道路施設の定期点検の実施
- ・橋梁、トンネル補修の実施
- ・自治体等と連携した「北海道道路メンテナンス札幌地方会議」を開催
- ・自治体職員の技術力向上等を目的とした「道路メンテナンス講習会（橋梁）」の開催

【空港】

- ・新千歳空港 滑走路の液状化対策、地下構造物の耐震補強

【防災】

- ・TEC-FORCE、リエゾンの早期派遣の実施及び積極的な情報提供
- ・自治体等へ排水ポンプ車、照明車、無人施工機械の操作訓練見学会の実施
- ・自治体等との防災情報交換の実施

【農業】

- ・農業農村災害緊急派遣隊の早期派遣の実施

小樽開発建設部

【治水】

- ・豊国地区河道掘削（尻別川）

【道路】

- ・高規格道路の整備
（倶知安余市道路（倶知安～共和）、倶知安余市道路（共和～余市））
- ・一般国道5号 塩谷防災
- ・一般国道5号 ニセコ電線共同溝
- ・一般国道229号 島牧防災
- ・一般国道5号 倶知安地区電線共同溝
- ・一般国道5号 小樽花園電線共同溝
- ・一般国道229号 余市駅前電線共同溝
- ・メンテナンスサイクルに基づく道路施設の定期点検の実施
- ・橋梁、トンネル補修の実施
- ・自治体等と連携した「北海道道路メンテナンス後志地方会議」の開催
- ・自治体職員の技術力向上等を目的とした「道路メンテナンス講習会（橋梁）」の開催

【港湾】

- ・小樽港本港地区防波堤整備事業
- ・岩内港老朽化対策事業

【防災】

- ・TEC-FORCE、リエゾンの早期派遣の実施及び積極的な情報提供
- ・自治体等へ排水ポンプ車、照明車の操作訓練の実施
- ・自治体等へ定期的に防災情報（TEC-FORCE活動、各種訓練情報など）を配信

○ 火山の噴火や地震、気象を起因とする土砂災害対策

- ・火山泥流等による災害を防止するための樽前山火山砂防事業の推進
- ・大規模土砂災害に対する緊急管理体制の強化

○ ハード・ソフトと一体となった総合的な防災・減災対策及び復旧・復興対策の推進

- ・防災情報を迅速かつ確実に伝達・共有するための情報・通信手段の整備
- ・ハザードマップ作成の支援及び自治体等を対象とした防災訓練等の実施
- ・緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）及び現地情報連絡員（リエゾン）の派遣等による広域支援体制の強化
- ・港湾物流の代替性確保のための広域連携体制の強化
- ・災害直後からの応急対策や復旧・復興拠点となる施設の整備
- ・大規模災害発生時の広域支援体制の強化
- ・災害対策機械の関係機関操作訓練の実施
- ・防災情報インフォメーションの配信による防災意識向上の取組の推進

室蘭開発建設部

【治水】

- ・旭岡地区河道掘削（鷓川）
- ・富川地区河道掘削、堤防整備（沙流川）
- ・平取ダムの建設（R3年度完成予定）
- ・樽前山直轄火山砂防事業
- ・厚真川水系直轄砂防事業
- ・防災拠点等の検討（鷓川、沙流川）

【道路】

- ・日高自動車道 厚賀静内道路
- ・一般国道276号 苫小牧新中野町電線共同溝
- ・一般国道274号 清瀬防災
- ・一般国道453号 蟠溪道路
- ・斜面对策の実施
- ・メンテナンスサイクルに基づく道路施設の定期点検の実施
- ・橋梁、トンネル補修の実施
- ・自治体等と連携した「北海道道路メンテナンス室蘭地方会議」を開催
- ・自治体職員の技術力向上等を目的とした「道路メンテナンス講習会（橋梁）」の開催
- ・雪崩対策
- ・自治体が管理する道路施設の直轄修繕代行（白老橋）の実施

【港湾】

- ・地域住民の安全・安心な生活を確保する臨海部防災拠点の整備（苫小牧港）
- ・港湾利用の安全性と効率性を確保する防波堤の整備（白老港、浦河港）
- ・道央圏港湾BCP、太平洋側港湾BCPの推進
- ・港湾機能の維持を図るための防波堤等の延命化対策（室蘭港、苫小牧港、えりも港）

【海岸】

- ・白老人エリーフ整備

【防災】

- ・TEC-FORCE、リエゾンの早期派遣の実施及び積極的な情報提供
- ・自治体、関係防災機関等との情報交換及び情報共有
- ・各種防災訓練への積極的な参加及び協力
- ・自治体への災害対策用機械、防災資機材の貸与
- ・広域防災フロートの活用

令和7年度（5年後）の目標

札幌開発建設部

【治水】

- ・石狩川（下流）水系外流域治水協議会において、流域のあらゆる関係者が協働してハード・ソフト一体の水防災対策「流域治水」の推進
- ・気候変動を踏まえた河川整備計画の見直しに向けた検討実施
- ・石狩川本支川の堤防整備及び河道掘削の実施
- ・北村遊水地の用地補償、囲ぎよう堤、周囲堤盛土、補償工事等の実施
- ・幌向川地区の堤防整備等や橋梁架け替えに向けた調査検討の実施
- ・千歳川の堤防整備、堤防整備に伴う補償工事・附帯工事の実施
- ・千歳川流域治水対策協議会において内水対策等の対応方針について確認
- ・豊平川及びその支川の河道掘削、河道整正等の実施
- ・豊平川の砂防堰堤整備等の実施
- ・幾春別川総合開発事業の三笠ぼんべつダム本体工事、付替道路工事等の実施
- ・雨竜川ダム再生事業の本体工事
- ・石狩川下流域減災対策協議会において水防災意識社会再構築の取組推進
- ・関係自治体タイムライン作成の支援
- ・洪水ハザードマップ作成の支援

小樽開発建設部

【治水】

- ・洪水氾濫を未然に防ぐ対策（尻別川）
- ・流域治水の推進

【道路】

- ・倶知安余市道路（倶知安～共和）
- ・倶知安余市道路（共和～余市）
R6年度（仮称）仁木IC～余市IC開通予定
- ・一般国道229号 島牧防災
- ・電線共同溝事業の実施
- ・防災・減災対策の実施
- ・メンテナンスサイクルに基づく道路施設の定期点検の実施
- ・橋梁、トンネル補修の実施

【港湾】

- ・小樽港本港地区防波堤整備事業の推進
- ・岩内港老朽化対策事業の推進

【防災】

- ・TEC-FORCE、リエゾンの早期派遣の実施及び積極的な情報提供
- ・自治体等へ排水ポンプ車、照明車の操作訓練の実施
- ・自治体等との防災情報交換の実施

【道路】

- ・道央圏連絡道路 中樹林道路
R6年度 全線開通予定
- ・一般国道452号 盤の沢道路
- ・電線共同溝事業の実施
- ・防災・減災対策の実施
- ・メンテナンスサイクルに基づく道路施設の定期点検の実施
- ・橋梁、トンネル補修の実施

【空港】

- ・新千歳空港 滑走路端安全区域拡張

【防災】

- ・TEC-FORCE、リエゾンの早期派遣の実施及び積極的な情報提供
- ・自治体等へ排水ポンプ車、照明車、無人施工機械の操作訓練見学会の実施
- ・自治体等との防災情報交換の実施

【農業】

- ・農業農村災害緊急派遣隊の早期派遣の実施

室蘭開発建設部

【治水】

- ・洪水氾濫を未然に防ぐ対策、危機管理型ハード対策の整備（鶴川、沙流川）
- ・砂防設備の整備（樽前山直轄火山砂防）
- ・流域治水の推進
- ・ハザードマップの作成支援

【道路】

- ・日高自動車道 厚賀静内道路
（日高厚賀IC～新冠IC【仮称】（R7年度開通予定））
- ・一般国道274号 清瀬防災
- ・一般国道453号 蟠溪道路
R3年度 部分開通予定、R7年度 全線開通予定

- ・電線共同溝事業の実施
- ・防災・減災対策の実施
- ・メンテナンスサイクルに基づく道路施設の定期点検の実施
- ・橋梁、トンネル補修の実施

【港湾】

- ・地域住民の安全・安心な生活を確保する臨海部防災拠点の整備（苫小牧港）
- ・港湾利用の安全性と効率性を確保する防波堤の整備（白老港、浦河港）
- ・道央圏港湾BCP、太平洋側港湾BCPの推進
- ・港湾機能の維持を図るための防波堤等の延命化対策（室蘭港、苫小牧港、えりも港）

【海岸】

- ・白老人工リーフ整備

【防災】

- ・広域防災フロートの活用
- ・防災力向上に向けた各種取組の推進

恵み豊かな自然と共生する持続可能な地域づくりプロジェクト〔道央広域連携地域〕

国家的・広域的な課題

- 地球規模での環境問題が深刻化する中、北海道の豊かな自然環境を国民共通の資産として将来にわたって継承するため、自然共生社会、循環型社会及び脱炭素社会の構築に向けた取組を総合的に推進する必要があります。
- 地球温暖化問題に対し、温室効果ガスの大幅な排出削減を図るため、再生可能エネルギーの導入や水素技術の活用等により、環境負荷の少ないエネルギー需給構造の実現が課題となっています。
- 2050年カーボンニュートラル（ゼロカーボン北海道）を実現するために、温室効果ガス排出削減対策や吸収源対策に、地域の住民、企業、行政が連携して取り組む必要があります。



地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 文化・歴史を受け継ぎながら、本道をリードする中核エリアとして、次の世代を見据えた持続可能な発展をめざす「道央広域連携地域」

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- 豊かな自然環境と調和した持続可能な社会の構築
 - ・ 雪氷冷熱や良質な農産物など地域の特性を活かした企業や研究機関等の誘致に向けた取組の促進
 - ・ 「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、木質バイオマスをはじめとした再生可能エネルギーの導入など脱炭素化の取組の促進
 - ・ 廃棄物の発生抑制や再使用、資源化の推進、環境保全意識の醸成等、循環型社会の実現に向けた取組の促進
 - ・ 多様な主体の参画による木育活動の推進
 - ・ 希少野生動植物等の保護や外来種対策など、生物多様性の保全と持続可能な利用を図るため、人と自然が共生する地域づくりの推進

プロジェクトの概要

北海道の豊かな自然環境を国民共通の資産として将来にわたって継承するため、生態系ネットワーク形成の視点に立ち、湿地の保全・再生、森林の適切な整備等、循環型社会の形成、脱炭素化及び健全な水循環の維持・回復等に取り組みます。
また、再生可能エネルギーの導入や水素技術の活用等による環境負荷の少ないエネルギー需給構造の実現に向けて取り組みます。

主な取組

- 自然と共生する水環境の形成
 - ・ 石狩川下流における自然再生事業の推進
 - ・ 鶴川河口干潟の保全・再生
 - ・ 多自然川づくりの推進（石狩川、尻別川、鶴川、沙流川）
 - ・ 舞鶴遊水地を軸とした生態系ネットワークの形成を推進
 - ・ 海岸保全施設の整備による海洋生物の生息環境の向上（胆振海岸）
- 地域との協働による水環境対策の推進
 - ・ 茨戸川清流ルネッサンスⅡによる水環境改善の推進
- 地域との協働などによる植樹活動の推進
 - ・ 「石狩川流域300万本植樹運動」等の推進
- 地域との協働による道路植樹の維持管理活動の推進
 - ・ 地域の魅力・課題に精通した地元住民等と協働して、道路の植樹の維持管理を推進

令和3年度の具体的な施策内容

札幌開発建設部

【治水】

- ・ 幌向地区の湿地環境保全対策のモニタリング及び検証
- ・ 石狩川下流旧川群の保全、再生、利活用に向けた検討実施
- ・ 多自然川づくり整備箇所のモニタリング及び検証（石狩川）
- ・ 茨戸川清流ルネッサンスⅡのモニタリング及び検証
- ・ 石狩川流域300万本植樹運動の推進（道・市町村・市民団体等と連携）
- ・ 千歳川流域における生態系ネットワークの形成

【道路】

- ・ 道央圏連絡道路（中樹林道路、長沼南幌道路）
- ・ 一般国道5号 創成川通
- ・ 一般国道12号 峰延道路
- ・ 一般国道230号 定山溪拡幅
- ・ 一般国道275号 江別北道路
- ・ 札幌都市圏渋滞対策連携会議の実施
- ・ 協働型道路マネジメントの推進
- ・ 自転車走行環境の整備促進

○ 脱炭素化の推進

- ・環境負荷が少ない交通体系の構築
- ・渋滞対策の推進
- ・自転車走行環境の整備促進
- ・各種インフラ施設における再生可能エネルギーの生産・利活用
- ・海岸保全施設の整備によるブルーカーボン生態系の創出（胆振海岸）
- ・グリーンインフラを活用した自然共生地域づくり

小樽開発建設部

【治水】

- ・多自然川づくり整備箇所のモニタリング及び検証（尻別川）

【道路】

- ・高規格道路の整備
（倶知安余市道路（倶知安～共和）、倶知安余市道路（共和～余市））
- ・北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討
- ・協働型道路マネジメントの推進

室蘭開発建設部

【治水】

- ・鶴川河口干潟の保全・再生の検討
- ・多自然川づくり整備箇所のモニタリング及び検証（鶴川、沙流川）

【海岸】

- ・白老人エリーフ整備

【道路】

- ・優れた景観を確保するための協働型道路マネジメントの実施
- ・北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討
- ・日高自動車道 厚賀静内道路

【港湾】

- ・複合一貫輸送機能の維持・強化（苫小牧港）

令和7年度（5年後）の目標

札幌開発建設部

【治水】

- ・幌向地区の湿地環境保全対策のモニタリング及び検証
- ・石狩川下流旧川群の保全、再生、利活用に向けた検討実施
- ・多自然川づくり整備箇所のモニタリング及び検証（石狩川）
- ・茨戸川清流ルネッサンスⅡのモニタリング及び検証
- ・石狩川流域300万本植樹運動の推進（道・市町村・市民団体等と連携）
- ・千歳川流域における生態系ネットワークの形成

【道路】

- ・道央圏連絡道路 中樹林道路
R6年度 全線開通予定
- ・一般国道12号 峰延道路
- ・一般国道230号 定山溪拡幅
R4年度 全線開通予定
- ・一般国道275号 江別北道路
R5年度 全線開通予定
- ・北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討
- ・協働型道路マネジメントの推進

小樽開発建設部

【治水】

- ・多自然川づくり整備箇所のモニタリング及び検証（尻別川）

【道路】

- ・倶知安余市道路（倶知安～共和）
- ・倶知安余市道路（共和～余市）
R6年度（仮称）仁木IC～余市IC開通予定
- ・北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討
- ・協働型道路マネジメントの推進

室蘭開発建設部

【治水】

- ・鶴川河口干潟の保全・再生の検討
- ・多自然川づくり整備箇所のモニタリング及び検証（鶴川、沙流川）

【海岸】

- ・白老人エリーフ整備

【道路】

- ・日高自動車道 厚賀静内道路
（日高厚賀IC～新冠IC【仮称】（R7年度開通予定））
- ・北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討
- ・協働型道路マネジメントの推進

【港湾】

- ・複合一貫輸送機能の維持・強化（苫小牧港）

食と農林水産業を支える地域づくりプロジェクト〔道央広域連携地域〕

国家的・広域的な課題

- 我が国の食料自給率の向上に向けて、北海道は食の供給基地としての役割を担っているため、引き続き、食料供給力の確保・向上及び農林水産業の持続的発展を図ることが求められています。
- 農林水産業従事者は、高齢化の進展や後継者不足などにより減少していることから、労働力の脆弱化等へ対応するため新規就業者や外国人労働者の育成・確保並びにスマート農業を始めとしたイノベーションの積極的な導入を推進するとともに生産基盤の整備や農水産物の高付加価値化などの取組により食料供給力や競争力を向上させていく必要があります。
また、農林水産物の安全性向上やブランド化、6次産業化、商工業との連携による商品開発の取組を進めるほか、国内及び海外への販路拡大とともに品目の多様化などにより、輸出の増加に取り組んでいく必要があります。
- 水産資源の回復、海域の生産力向上及び生産・出荷の安定化のため、水産環境整備や漁港水域を増養殖場として利用する漁港機能の集約化や有効活用等を推進する必要があります。

プロジェクトの概要

食料供給力の向上を図るとともに、担い手の確保や収益性の向上など農林水産業の持続的発展のため、良好な営農条件を備えた農地・農業用水の確保や漁港の整備、国内及び海外への販路拡大に向けた取組を推進します。

主な取組

- **食料の安定生産と品質向上等に向けた農業用水の確保**
 - ・農業用水利施設の更新・整備を行い、食料の安定生産に向けた用水確保
 - ・良質米生産や畑作等の用水需要に即した、用水利用期間などの検討
- **食料の生産性向上と多様な農業展開に向けた排水網の整備**
 - ・地域の排水網の点検・整備を行い、排水被害の解消等による生産性や品質の向上
 - ・水田の畑利用時の小麦、大豆などの単位当たり収量の増加等により多様な農業展開に向けた条件を整備
- **食料の効率的な生産に向けたほ場の整備**
 - ・ほ場の大区画化やほ場と一体的な用排水網の整備を行い、営農作業の効率化や高付加価値化に向けた環境整備に寄与
 - ・ほ場整備と併せて、換地や担い手への農地集積を行うことにより、新規就業者や農業生産法人など地域の多様な担い手確保及び営農の継続に必要な幅広い経営安定に向けた環境整備に寄与

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 文化・歴史を受け継ぎながら、本道をリードする中核エリアとして、次の世代を見据えた持続可能な発展をめざす「道央広域連携地域」

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- **地域の特色を活かした多種多様な農林水産業の展開**
 - ・生産性向上に向けた農業生産基盤の整備、ロボット、ドローンなどICT・AIなどを活用したスマート農業の導入、法人経営の育成・推進などによる地域農業の体質強化
 - ・地域の特色ある農林水産物やこれらの加工品のブランド力の強化と農水産物をベースとした6次産業化や農商工の連携の推進、国内外への販路拡大
 - ・食・滞在・体験等を提供する農村ツーリズムを通じた都市・農村交流の促進
 - ・地産地消等の推進による地域の農産物の消費拡大
 - ・新規就業者の育成・確保、高齢者や女性、農福連携など障がいのある方の就労に配慮した環境整備、ICTを活用した作業の省力化
 - ・エゾシカやヒグマ、アライグマなどの鳥獣被害防止に関し、広域的に連携した対策による農業経営の安定化
 - ・秋サケやホタテガイ、ウニ、ナマコ、コンブなどの栽培漁業の一層の推進と適切な資源管理の促進
 - ・生産性向上などによる漁業経営の収益性向上や地域を主体とした新規就業者の受入体制づくり
 - ・鮮度保持施設の整備などの安全で良質な道産水産物の安定供給と各種イベントをはじめとした消費拡大の取組の推進
 - ・地域の特性に応じた森づくりの推進と、森林整備に伴い産出される道産木材の高付加価値化及び有効活用の促進、地材地消の推進などによる森林資源の循環利用の確立

令和3年度の具体的な施策内容

札幌開発建設部

【農業】

- ・国営かんがい排水事業
北海地区・幌加内地区・江別南幌地区・幌向川二期地区
- ・国営施設応急対策事業
新雨竜二期地区・篠津青山地区・お茶の水地区
- ・国営農地再編整備事業
南長沼地区・美唄茶志内地区
- ・国営緊急農地再編整備事業
美唄地区・雨竜暑寒地区・岩見沢北村地区・岩見沢大願地区
- ・国営総合農地防災事業
雨竜川下流地区
- ・「わが村は美しくー北海道」運動
（「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など）

○ **水産基盤・港湾の整備による食料供給力の強化と自給率の向上**

- ・漁港・港湾整備等による水産物の競争力強化
- ・水産物の安定的な供給を確保するためのつくり育てる漁業を支援する漁港の整備
- ・安全で安心な水産物供給体制を確保するための衛生管理型漁港の整備
- ・地域マリンビジョンにおける水産物のブランド化や担い手確保対策等の支援

○ **農水産物等の移輸出拡大に向けた取組の推進**

- ・「北海道国際輸送プラットホーム」（小口混載貨物輸送）の推進

小樽開発建設部

【農業】

- ・国営緊急農地再編整備事業（ニセコ地区）
- ・国営かんがい排水事業（中後志地区）
- ・「わが村は美しくー北海道」運動
（「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など）

【水産】

- ・直轄特定漁港漁場整備事業（古平・美国・寿都地区）

室蘭開発建設部

【農業】

- ・国営かんがい排水事業
（勇払東部（二期）地区・新鷲川地区・大原二期地区・美河地区）
- ・国営緊急農地再編整備事業（伊達地区）
- ・直轄災害復旧事業（勇払東部地区・早来地区）
- ・「わが村は美しくー北海道」運動
（「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など）

【港湾】

- ・水産物流の効率化を図る小型船だまり等の整備等の整備
（苫小牧港、浦河港）
- ・北海道国際輸送プラットホーム（HOP）の推進

【水産】

- ・直轄特定漁港漁場整備事業
（追直・登別・三石・様似・庶野地区）

令和7年度（5年後）の目標

札幌開発建設部

【農業】

- ・国営かんがい排水事業
北海地区・幌加内地区・江別南幌地区・幌向川二期地区
- ・国営施設応急対策事業
新雨竜二期地区・篠津青山地区・お茶の水地区
- ・国営農地再編整備事業
南長沼地区・美唄茶志内地区
- ・国営緊急農地再編整備事業
美唄地区・雨竜暑寒地区・岩見沢北村地区・岩見沢大願地区
- ・国営総合農地防災事業
雨竜川下流地区
- ・「わが村は美しくー北海道」運動
（「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など）

小樽開発建設部

【農業】

- ・国営緊急農地再編整備事業（ニセコ地区）
- ・国営かんがい排水事業（中後志地区）
- ・「わが村は美しくー北海道」運動
（「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など）

【水産】

- ・直轄特定漁港漁場整備事業の推進
（古平・美国・寿都地区）

室蘭開発建設部

【農業】

- ・国営かんがい排水事業
（勇払東部（二期）地区・新鷲川地区・大原二期地区・美河地区）
- ・国営緊急農地再編整備事業（伊達地区）
- ・直轄災害復旧事業（勇払東部地区・早来地区）
- ・「わが村は美しくー北海道」運動
（「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など）

【港湾】

- ・水産物流の効率化を図る小型船だまり等の整備
（苫小牧港、浦河港）
- ・北海道国際輸送プラットホーム（HOP）の推進

【水産】

- ・直轄特定漁港漁場整備事業
（追直・登別・三石・様似・庶野地区）

産業を支える人流・物流ネットワーク整備プロジェクト〔道央広域連携地域〕

国家的・広域的な課題

- 地域における産業の活性化と雇用機会の創出を図るため、創造的なものづくり等にチャレンジする起業家の育成を始め、地域の優位性や既存産業の集積の活用による企業誘致や新分野への事業展開に取り組む必要があります。
- 首都圏からの遠隔性、大規模自然災害によるリスクの低さ、冷涼な気候等の地域の強みを活かし、本社機能や生産拠点の移転・分散化を図る企業の誘致、データセンターなどICT産業の立地促進に取り組んでいく必要があります。
- 農林水産業、食関連産業、観光関連産業、製造業等の産業を支えるためには、利便性・効率性・持続可能性の高い人流・物流ネットワークの整備が必要であるため、高規格道路を始めとする基幹的ネットワークの整備を推進するとともに、新幹線、鉄道、空港及び港湾の国内外と一体となった円滑な交通体系を構築する必要があります。

プロジェクトの概要

産業の活性化として、農水産品、食料品の輸送や観光等に求められる広域的な人流・物流を支える交通体系を強化するため、生産地や観光地、消費地、空港・港湾を結ぶ道路ネットワークの整備、ミッシングリンクの解消等、高規格道路を始めとする基幹的なネットワークの整備を推進するとともに、新幹線、空港及び港湾の国内外と一体となった円滑な交通体系の構築を目指します。

主な取組

- **内外との交流基盤の整備**
 - ・国内外の航空ネットワークを強化するための空港整備を実施
 - ・国際物流の機能強化や安定性の確保を図るため、国際物流ターミナルの整備を推進
 - ・基幹的ネットワークの整備
 - ・内外との物流基盤の整備
 - ・物流機能の強化や地域の産業競争力を強化する施設整備を推進
 - ・北極海航路活用のための取組
- **規格の高い道路ネットワークの整備**
 - ・生産地や観光地、消費地、空港・港湾等の交通拠点を結ぶ高規格道路等の広域交通ネットワークの整備
- **基幹ネットワーク道路の整備推進**
 - ・生産拠点、物流拠点等と高規格道路等を結ぶ幹線道路の整備推進
 - ・国道通行不能区間（ミッシングリンク）の解消
- **既存高速道路ネットワークの有効活用・機能強化**
 - ・スマートインターチェンジの整備促進
- **渋滞対策の推進**
 - ・北海道渋滞対策協議会において特定された主要渋滞箇所について検討・対策の実施

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 文化・歴史を受け継ぎながら、本道をリードする中核エリアとして、次の世代を見据えた持続可能な発展をめざす「道央広域連携地域」

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- **本道経済をリードする産業の活性化**
 - ・ものづくり産業や食関連産業等の集積の促進や産学官金連携等による産業の創出・育成
 - ・北海道食品機能性表示制度（愛称：ヘルシーDo）などを活用した食品加工分野での高付加価値化、販路拡大
 - ・地域の特性を活かしたものづくり産業人材の確保・定着の促進
- **交通基盤整備の促進**
 - ・地域生活や産業及び快適な広域観光を支える交通ネットワークの維持・確保及び充実

令和3年度の具体的な施策内容

札幌開発建設部

【道路】

- ・道央圏連絡道路（中樹林道路、長沼南幌道路）
- ・一般国道5号 創成川通
- ・一般国道12号 峰延道路
- ・一般国道230号 定山溪拡幅
- ・一般国道275号 江別北道路
- ・一般国道452号 盤の沢道路
- ・札幌都市圏渋滞対策連携会議の実施

【空港】

- ・新千歳空港 誘導路複線化事業

小樽開発建設部

【道路】

- ・高規格道路の整備
（倶知安余市道路（倶知安～共和）、倶知安余市道路（共和～余市））
- ・一般国道5号 塩谷防災
- ・一般国道229号 島牧防災

【港湾】

- ・石狩湾新港西地区国際物流ターミナル整備事業
- ・石狩湾新港東地区国際物流ターミナル整備事業
- ・小樽港中央地区予防保全事業

○ 観光産業基盤の形成

- ・「サイクルツーリズム」など観光地域づくりの取組を「観光地経営」の視点に立って進めるため、地域の観光振興を戦略的に推進する活動を支援

室蘭開発建設部

【道路】

- ・日高自動車道 厚賀静内道路
- ・一般国道274号 清瀬防災
- ・一般国道453号 蟠溪道路
- ・北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討

【港湾】

- ・複合一貫輸送機能の維持・強化（苫小牧港）
- ・安定的・効率的な国際海上コンテナ輸送網の形成の促進（苫小牧港、室蘭港）
- ・物流機能を強化する物流ターミナルの整備（室蘭港）
- ・物流機能の安定性を強化するための防波堤の整備（白老港・浦河港）
- ・予防保全事業（室蘭港・苫小牧港）
- ・北極海航路の航行実態の把握

令和7年度（5年後）の目標

札幌開発建設部

【道路】

- ・道央圏連絡道路 中樹林道路
R6年度 全線開通予定
- ・一般国道12号 峰延道路
- ・一般国道230号 定山溪拡幅
R4年度 全線開通予定
- ・一般国道275号 江別北道路
R5年度 全線開通予定
- ・一般国道452号 盤の沢道路
- ・北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討

【空港】

- ・新千歳空港 誘導路複線化事業

小樽開発建設部

【道路】

- ・倶知安余市道路（倶知安～共和）
- ・倶知安余市道路（共和～余市）
R6年度（仮称）仁木IC～余市IC開通予定
- ・一般国道229号 島牧防災
- ・北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討

【港湾】

- ・石狩湾新港西地区国際物流ターミナル整備事業の推進
- ・石狩湾新港東地区国際物流ターミナル整備事業の推進
- ・小樽港中央地区予防保全事業の推進

室蘭開発建設部

【道路】

- ・日高自動車道 厚賀静内道路
（日高厚賀IC～新冠IC【仮称】（R7年度開通予定））
- ・一般国道274号 清瀬防災
- ・一般国道453号 蟠溪道路
R3年度 部分開通予定、R7年度 全線開通予定
- ・北海道渋滞対策協議会による渋滞対策検討

【港湾】

- ・複合一貫輸送機能の維持・強化（苫小牧港）
- ・安定的・効率的な国際海上コンテナ輸送網の形成の促進（苫小牧港、室蘭港）
- ・物流機能を強化する物流ターミナルの整備（苫小牧港、室蘭港）
- ・物流機能の安定性を強化するための防波堤の整備（白老港、浦河港）
- ・北極海航路の航路実態の把握

世界水準の魅力ある観光地づくりプロジェクト〔道央広域連携地域〕

国家的・広域的な課題

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響による落ち込みからの回復、そして、北海道が世界に評価され、将来にわたって人々を引きつける地域となるよう、長期的な視点に立って引き続き「世界水準の観光地の形成」を推進していく必要があります。
- 北海道新幹線の開業やLCCの就航などにより、多くの観光客が訪れることが期待されており、アイヌ文化、世界文化遺産である縄文遺跡群、ジオパーク、産業遺産、日本遺産など地域固有の歴史・文化を活かした交流人口の拡大、サイクリング、スキーなど体験型観光の推進、広域的な観光資源のネットワークの形成など地域資源・特性を活かした世界に通用する魅力ある観光地づくりを進めていく必要があります。また、アイヌ文化の発信・文化復興としての「ウポポイ（民族共生象徴空間）」の更なる利活用が必要です。
- グランピングやワーケーションなど、ポスト・コロナ、ウィズ・コロナを見据えた観光メニューの充実を図りつつ、国内外の新たな観光需要を取り込み、満足度を一層高め、その拡大を図るため受入環境の整備が必要であるとともに、北海道新幹線の札幌延伸による、観光圏の拡大を見据えた取組を進める必要があります。また、北海道7空港一括運営を生かし、地方部への分散・周遊を支える移動環境の整備が必要です。

地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 文化・歴史を受け継ぎながら、本道をリードする中核エリアとして、次の世代を見据えた持続可能な発展をめざす「道央広域連携地域」

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- 多彩な地域資源を活用した観光の振興
 - ・感染症対策にも配慮し、自然、食、スポーツ、温泉、産業遺産、ジオパークなど地域資源を活かした魅力ある観光地づくりのより一層の推進
 - ・アドベンチャートラベルやワーケーションの推進、北海道ポールパークの開業など切れ目なく続くビッグプロジェクトを契機とした新たな観光需要に対応した受入体制整備、広域観光の促進、メディアやSNSなどを活用した地域の観光情報や魅力の発信、体験・滞在・通年型観光の推進
 - ・観光ビジネス人材の育成や、標記の多言語化など外国人向けの観光メニューづくりと外国人観光客の受入体制の整備

プロジェクトの概要

道央広域連携地域の魅力的な自然、景観、食、文化等の観光資源を活かし、世界水準の魅力ある観光地づくりを進めるため、広域的な連携による観光地のネットワーク化、広域的な観光周遊ルートの形成、国内外の旅行者の受入環境の整備等による観光関連産業の促進を図ります。

主な取組

- 国際競争力のある観光地づくりと地域間の連携等を通じたまちづくり
 - ・増加する外国人観光客が安心して自由に旅行ができる道路標識や観光案内板等の多言語表記
 - ・冬季の快適な歩行空間の確保や移動性の向上などのバリアフリー化や多様な観光客が安心できるユニバーサルデザインの推進
 - ・シーニックバイウエイ活動団体と連携した美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくりの支援
 - ・水産資源を活用した漁業体験学習等、地域マリナビジョンの推進
 - ・新鮮な地元食材を活用した「食」と「観光」の一体化による魅力ある観光地づくり
 - ・観光拠点間相互の連携強化と広域周遊及び体験・長期滞在型観光の形成
 - ・「道の駅」の機能と魅力の向上
 - ・地域の特性や観光資源を生かした観光交流の促進
 - ・地域と連携した札幌の雪道の歩き方についての情報発信
 - ・みなどオアシス等と連携したみなどを活用した交流拠点の形成
 - ・外国人旅行者の受入環境整備によるゲートウェイ機能の強化
 - ・石狩川流域におけるインバウンドを中心とした長距離サイクリングルートの形成
 - ・各種インフラ施設を活用したインフラツーリズムの推進

令和3年度の具体的な施策内容

札幌開発建設部

- 【治水】
 - ・石狩川流域における広域サイクリングネットワークの形成
 - ・「かわたびほっかいどうプロジェクト」の実施
- 【道路】
 - ・自転車ネットワーク整備の更なる強化やサイクルルート情報の充実化
- 【空港】
 - ・新千歳空港 誘導路複線化事業
- 【農業】
 - ・「わが村は美しくー北海道」運動（「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など）
- 【その他】
 - ・「北海道”みりよく”発信プロジェクト」の実施

小樽開発建設部

【治水】

- ・「かわたびほっかいどうプロジェクト」の推進

【道路】

- ・高規格道路の整備
（倶知安余市道路（倶知安～共和） 倶知安余市道路（共和～余市））
- ・交差点地点名表示の改善
- ・道路情報板を活用した多言語（日本語、英語）による道路情報等の提供
- ・砂詰めペットボトルによる安全な冬道歩行の支援
- ・優れた景観を確保するための協働型道路マネジメントの実施
- ・サイクルルート情報を発信することによるサイクルツーリズムの推進
- ・「道の駅」への整備支援
- ・しりべし快適走行プロジェクト
- ・世界の後志を目指して
- ・たardどう・ファイブ♥
- ・まっかりフラワーロード

【港湾】

- ・小樽港中央地区予防保全事業（クルーズ客船）

【水産】

- ・直轄特定漁港漁場整備事業（古平・美国・寿都地区）

【農業】

- ・「わが村は美しくー北海道」運動
（「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、
多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など）

室蘭開発建設部

【治水】

- ・「かわたびほっかいどうプロジェクト」の推進

【道路】

- ・日高自動車道 厚賀静内道路
- ・交差点地点名表示の改善
- ・道路情報板を活用した多言語（日本語、英語）による道路情報等の提供
- ・一般国道336号 西幌別歩道整備
- ・「ヒヤリ・ハットマップ」の作成配布
- ・シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルートにおける地域主体での景観向上、観光推進
- ・サイクルツーリズムの推進

【港湾】

- ・みなとオアシスの活動支援（室蘭港・苫小牧港）
- ・大型クルーズ船の受入環境の整備（室蘭港）

【農業】

- ・「わが村は美しくー北海道」運動
（「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、
多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など）

【水産】

- ・直轄特定漁港漁場整備事業（追直・登別・三石・様似・庶野地区）

【地域振興】

- ・地域の観光振興に資する活動に対する魅力ある公的施設・インフラの開放
- ・白鳥大橋を活用したインフラツーリズム

札幌開発建設部

【治水】

- ・石狩川流域における広域サイクリングネットワークの形成
- ・「かわたびほっかいどうプロジェクト」の推進

【道路】

- ・道央圏連絡道路 中樹林道路
R6年度 全線開通予定
- ・自転車ネットワーク整備の更なる強化やサイクルルート情報の充実化

【空港】

- ・新千歳空港 滑走路端安全区域拡張

【農業】

- ・「わが村は美しくー北海道」運動の実施
（「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など）

【その他】

- ・「北海道”みりょく”発信プロジェクト」の実施

小樽開発建設部

【治水】

- ・「かわたびほっかいどうプロジェクト」の推進

【道路】

- ・倶知安余市道路（倶知安～共和）
- ・倶知安余市道路（共和～余市）
R6年度（仮称）仁木IC～余市IC開通予定

【港湾】

- ・小樽港中央地区予防保全事業（クルーズ客船）の推進

【水産】

- ・直轄特定漁港漁場整備事業（古平・美国・寿都地区）の推進

【農業】

- ・「わが村は美しくー北海道」運動
（「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など）

室蘭開発建設部

【治水】

- ・「かわたびほっかいどうプロジェクト」の推進

【道路】

- ・日高自動車道 厚賀静内道路
（日高厚賀IC～新冠IC【仮称】（R7年度開通予定））

【港湾】

- ・みなとオアシスの活動支援（苫小牧港、室蘭港）
- ・大型クルーズ船の受入環境の整備（室蘭港）
- ・予防保全事業（室蘭港・苫小牧港）

【水産】

- ・直轄特定漁港漁場整備事業
（追直・登別・三石・様似・庶野地区）

【農業】

- ・「わが村は美しくー北海道」運動
（「地域資源」を見つけ「いいもの」を多くの人に伝えるコンクールの開催、多くの人に伝えるためのパンフレットの配布、パネル展の開催など）

【地域振興】

- ・地域の観光振興に資する活動に対する魅力ある公的施設・インフラの開放
- ・白鳥大橋を活用したインフラツーリズム

アイヌ文化の振興等プロジェクト〔道央広域連携地域〕

国家的・広域的な課題

- 多様な価値観が共生し活力ある社会を形成する共生社会の実現に資するため、アイヌの歴史、文化等に関する国民各層の幅広い理解を促進し、将来へ向けたアイヌ文化の継承及び新たなアイヌ文化の創造発展を図る必要があり、アイヌ文化の発信・文化復興施設としての「ウポポイ（民族共生象徴空間）」の更なる利活用が必要です。



地域をめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 文化・歴史を受け継ぎながら、本道をリードする中核エリアとして、次の世代を見据えた持続可能な発展をめざす「道央広域連携地域」

連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- 地域固有の文化や歴史の継承・活用
 - ・ウポポイ（民族共生象徴空間）や日本遺産に認定された「炭鉄港」をはじめ、アイヌ文化や産業遺産などの地域固有の文化、歴史、産業などを活かした取組の推進と理解の促進

プロジェクトの概要

アイヌの歴史、文化等に関する国民各層の幅広い理解を促進するとともに、将来へ向けたアイヌ文化の継承及び新たなアイヌ文化の創造発展を図り、「ウポポイ（民族共生象徴空間）」を含むアイヌ文化の復興等に関する全道的なネットワークの構築を図るとともに、アイヌの伝統的工芸品産業の振興等やアイヌに関する総合的かつ実践的な研究を支援します。

主な取組

- 将来へ向けたアイヌ文化の継承及び新たなアイヌ文化の創造発展
- アイヌ文化の復興等に関する全道的なネットワークの構築
- アイヌに関する総合的かつ実践的な研究支援
 - ・アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンター「ウポポイ（民族共生象徴空間）」の整備管理運営に関する取組の推進
 - ・アイヌ文化の振興
 - ・アイヌの伝統的生活空間（イオル）の再生

令和3年度の具体的な施策内容

室蘭開発建設部

【河川】

- ・平取ダム地域文化保全対策検討会の開催
- ・沙流川総合水系環境整備事業「平取町かわまちづくり」に対する支援

令和7年度（5年後）の目標

北海道開発局

【地域振興】

- ・ウポポイ（民族共生象徴空間）への誘客支援によるアイヌの歴史・文化等の理解促進

室蘭開発建設部

【河川】

- ・アイヌ文化の伝承に資する河川空間の整備を継続